

## 『アウトリーチ推進事業研修会』アンケート

問 1：以下の各々の項目について「重要性」と「実践度」についてうかがいます。「重要性」については、アウトリーチにおいてどの程度重要と感じるかを「10点：とても重要」から「0点：全く重要でない」で、「実践度」についてはそれらを日常の臨床実践の中で実践できているか「10点：十分に（常に）実践している」から「0点：全く実践していない」で、例にならって10点満点で得点を記入してください。

		重要性 アウトリーチにおいて どの程度重要か	実践度 日常の臨床実践の中で 実践できているか
例	●●●の○○○について	8 点/10 点	3 点/10 点
1	精神疾患・障害からのリカバリーという概念	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
2	病棟や施設の作法を利用者の自宅にもちこまず、利用者やその家族の住む場所の作法を尊重すること	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
3	利用者・家族との良好な関係づくり(関係を持ちにくい当事者(未受診察、治療中断者)へもアプローチを行う)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
4	ストレンクス・モデルに基づいたケアマネジメントにおけるアセスメント(利用者や環境の強みなど、ケアマネジメントを行う上で有用な情報を集める)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
5	ストレンクス・モデルに基づいたケアマネジメントにおけるケアプラン作り(初期アセスメント、初期プランについても理解する)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
6	ストレンクス・モデルに基づいたケアマネジメントにおける、実際の支援へのアセスメントやプランの適用(ケア会議やサービスを振り返るためのモニタリングも行う)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
7	利用者本人や家族をエンパワメントするための心理教育	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
8	多職種チームによる支援(ケアの決定と遂行を、主体的に、直接的に、包括的に行い、利用者の状態に合わせた訪問頻度・時間を設定し、毎日ミーティングの機会をもつ)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
9	家族や近隣住民、雇用主などへのインフォーマルな支援	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
10	医療機関、保健所、市町村、福祉サービス機関が有機的に連携した支援(アウトリーチ推進事業における評価検討委員会の運営など)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
11	利用者の地域生活や生命が破綻しかかっているような状況での、急性期対応(クライシス対応)	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
12	危機介入とその倫理についての理解	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点
13	ストレンクス・モデルに基づいた支援と、危機介入の関係についての理解	_____ 点/10 点	_____ 点/10 点

問 2：精神疾患・障害からのリカバリーという概念に関するあなたの考え（態度）を知りたいと思っています。  
以下の各文章を読み、あなたの意見に最も近い数字を○で囲んでください。

	大いに そう思う	いくらか そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
1 重い症状や障害があってもリカバリーできる	1	2	3	4	5
2 リカバリーのプロセスは、希望を必要とする	1	2	3	4	5
3 私は、精神の病を持つ人々を尊敬することができる	1	2	3	4	5
4 私は、利用者を患者扱いするのではなく、人としてみている	1	2	3	4	5
5 私は、利用者の可能性を信じている	1	2	3	4	5

問 3：あなたの性別について、あてはまる数字を○で囲んでください。

1) 男性                      2) 女性

問 4：あなたの年齢について、あてはまる数字を○で囲んでください。

1) 19 歳以下	2) 20～29 歳	3) 30 歳～39 歳	4) 40 歳～49 歳
5) 50 歳～59 歳	6) 60 歳～69 歳	7) 70 歳以上	

問 5：あなたの精神科臨床経験年数について、あてはまる数字を○で囲んでください。

1) 5 年未満	2) 5 年～ 9 年	3) 10 年～14 年	4) 15 年～19 年
5) 20 年～24 年	6) 25 年～29 年	7) 30 年～34 年	8) 35 年以上

問 6：あなたのアウトリーチ経験年数について、あてはまる数字を○で囲んでください。

1) 5 年未満	2) 5 年～ 9 年	3) 10 年～14 年	4) 15 年～19 年
5) 20 年～24 年	6) 25 年～29 年	7) 30 年～34 年	8) 35 年以上

問 7：あなたの職種について、当てはまる選択肢を以下から選んでください。幾つかの複数の職種が当てはまる場合は、アウトリーチ事業担当者のアイデンティティとして最もふさわしい選択肢を○で囲んでください。

1) 精神保健福祉士	2) 作業療法士	3) 相談支援専門員
4) 介護支援専門員	5) 看護師	6) 医師
7) 臨床心理士	8) 理学療法士	9) 作業療法士
10) 社会福祉士	11) 保健師	12) 大学等教職員
13) 市町村社会福祉協議会職員	14) 都道府県社会福祉協議会職員	15) 行政担当者
16) その他（具体的に）（		）

問 8：この研修会にあなたがどのような立場で参加しているかについて、あてはまる数字を○で囲んでください。

1) あなたの自治体(都道府県)でアウトリーチ推進事業を実施しており、今回は事業を委託されている事業所(医療機関や福祉サービス事業所など)の臨床スタッフとして参加している
2) あなたの自治体(都道府県)でアウトリーチ推進事業を実施しており、今回は保健所職員の立場で参加している
3) あなたの自治体(都道府県)でアウトリーチ推進事業を実施していないが、希望により参加している
4) その他(さしつかえない範囲で、具体的にご記入ください) (
)

ご協力、ありがとうございました。

# 研修日程モデル例

## 【基本研修】

### 第1日目

- ☆講義 精神障害者のアウトリーチや関連する制度・事業について：現状と方向性（30分）
- ☆講義 アウトリーチ支援の基本 導入・支援・終結（90分）
- ☆講義 アウトリーチ支援におけるケアマネジメント（90分）
- ☆講義 アウトリーチ支援における家族・住民や関係機関との連携（110分）
- ☆懇親会

### 第2日目

- ☆演習（アウトリーチ支援スタッフと管轄保健所職員とに分かれるなど、立場の違いにより複数のグループに分かれる：150分）

具体例)

（支援事業所） 演習	ケアマネジメントの実際（事例提示をもとに）
（保健所） グループワーク	アウトリーチにおける保健所の役割

- ☆グループワーク アウトリーチ（事業）の課題と解決法（120分）

## 【中級研修】

### 第1日目のみ

- ☆説明 アウトリーチに関する制度について：最近の話題など（20分）
- ☆講義 アウトリーチに関する研究とその成果について（40分）
- ☆講義 アウトリーチにおける危機介入と倫理（90分）
- ☆実際のチームの事例発表（20分×2チーム）
- ☆グループワーク：エリアに分かれて（60分）
- ☆グループワークの発表および全体討論（50分）

＊ ＊ 以上は、平成24年度、25年度に開催された研究班の実際の研修会プログラムに基づいています。

